

1 学校教育目標
心豊かで活力にあふれた個性ある生徒を育成し、将来、世界で活躍できるグローバルな視点と能力を持つ、故郷熊本を支える地域人材の育成を目指す。

2 本年度の重点目標
(1) グローバルな視点と能力を身につけた、地域に貢献できる人材を育成する。
(2) 進路目標達成のためにキャリア教育を推進し、望ましい職業観・勤労観を育成する。
(3) 全ての教育活動をととして規範意識を高め、自信と誇りを持った生徒を育成する。
(4) 人権尊重の精神を養い、互いの個性を尊重し、自他を大切にする生徒を育成する。

3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	総合学科の特色づくり	総合学科の工夫・改善	○総合学科らしい教育課程の編成 ○進路選択に合わせた適切な科目選択	○教務・総合学科研究部が連携した教育課程検討委員会の実施 ○授業見学等をととした科目選択ガイダンスの充実	A	○総合学科にふさわしい学習評価の評価規準を作成した。 ○進路に即したカリキュラムを委員会の中で検討した。今後、実施における課題を洗い出す必要がある ○コロナ禍の影響で従来どおりのガイダンスは行えなかったのが、動画を作成・視聴させるなど工夫した。
	開かれた学校づくり	学校評価の着実な実施	○学校の取組や学校の最新情報の発信	○ICT運営部（新設） ○広報・ホームページ委員会、総務部を中心に、各部・各学科・各年次が連携した学校の最新情報の計画的な発信	A	○ホームページやSNSを活用した情報発信が活発にできた。 ○コロナ禍における、分かりやすく訴求力のある情報発信を検討する。
			○地域企業へ本校教育活動の発信	○菊池地域企業推進プロジェクト、地域企業との情報交換会、地域工場見学会等の実施	B	○地域企業説明会、工場見学会を、企業説明の動画配信の視聴など、感染防止対策を講じながら実施した。
	働き方改革	セルフマネジメントの育成	○時間外勤務時間 4 5 時間以内 ○年次有給休暇年 1 2 日以上 の取得	○定時退勤日、一斉休業日の設定 ○仕事の棚おろし表作成 ○時間外業務管理 ○定期的な職員への声かけ	B	○毎週水曜日を定時退勤日、8 月 1 2 日から 8 月 1 5 日の 4 日間を一斉休業日として設定した。 ○棚卸し表を作成し、見通しを持った業務遂行及び業務改善を実施した。 ○正規の勤務時間以外の従事時間が多い職員に対しては、管理職の声かけと必要に応じた産業医面談を確実に実施した。

学力向上	学力向上	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業研究	○教科横断的な視点に立った授業の推進 ○ICT機器を効果的に用いた授業、オンライン授業の研究 ○指導と評価の一体化の推進	○授業研究プロジェクトチームによる職員研修の充実 ○外部講師の招聘、校内研修の実施 ○効果的な評価の在り方（ルーブリック評価、ポートフォリオ評価等）の研究 ○観点別評価の研究・試行	A	○8月と10月に研修を実施し、新学習指導要領が目指すものを全職員に周知した。また、授業評価を本校の目指す資質・能力を踏まえた内容で実施した。今後、検証を行い、課題の洗い出しと改善を推進する。 ○ICT運営部主催のミニ研修会やICT支援員のサポートにより授業でのICTの効果的な活用が行われた。オンライン授業における対話的な授業の実施の検証・改善を進める。 ○学習指導と評価の改善とを両輪で進めることの重要性を周知した。各教科において令和4年度の年間指導と評価の計画を作成した。
			○公開授業校内参観率の向上 ○外部からの授業参加者数の増加	○研修立案 ○対外的行事に合わせた授業参観の企画	B	○年3回の校内公開授業週間や指導教諭の授業参観を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で2回の実施となった。指導教諭の公開授業はオンラインで実施した。
		学習習慣の確立	○家庭学習1時間＋α ○質の高い学習（計画・実践）の定着 ○学習のPDCAサイクルづくり	○学習時間調査の実施、結果分析、改善策の提案・実行 ○『教務通信』による学習アドバイス ○スコラ手帳の効果的な活用法の提示	B	○調査項目を教科別に細分化し、調査結果を各教科にフィードバックすることができた。 ○学習時間調査の結果、事前に計画を立てて学習に臨んだ生徒は全体の86.2%、計画どおりに学習に取り組めた生徒が全体の82.9%であった。今後、PDCAサイクルにおいて効果的にCAに取り組ませる方策を検討する。
		職業観の育成	○「働くこと」に対する理解を深める ○自己理解の推進	○外部講師による研修会等の実施 ○教材エナジードの積極的活用 ○外部の適性診断テストを活用による自己理解の促進	A	○生徒向け講話を6回、職員向け講話を2回実施した。 ○将来を考える機会を確保し、生徒の考えを表現しようとする姿勢は高まった。 ○キャリア教育の第一歩としての自己理解及び職業理解が深まった。
キャリア教育	キャリア教育の推進	職業観の育成	○「働くこと」に対する理解を深める ○自己理解の推進	○外部講師による研修会等の実施 ○教材エナジードの積極的活用 ○外部の適性診断テストを活用による自己理解の促進	A	○生徒向け講話を6回、職員向け講話を2回実施した。 ○将来を考える機会を確保し、生徒の考えを表現しようとする姿勢は高まった。 ○キャリア教育の第一歩としての自己理解及び職業理解が深まった。

		キャリア教育のシステム化	○科目「産業社会と人間」の充実 ○インターンシップの充実 ○3年次総合的な探究の時間の充実	○自らの進路選択との関係性を明確にした職業研究プロジェクトの実施 ○企業開拓及び全職員の協力による事前事後指導の充実 ○幅広い分野とつながりを持った探究活動の実施	A	○調査から発表会、振り返りまでを実施できた。今後は他の教科と繋げる取組について検討する。 ○コロナ禍ではあったが110の事業所に協力をいただき実施した。 ○コロナ禍で実現には至らなかったが、ポスターセッション形式で全員が発表できる状況になった。
進路保障		進路目標の達成	○就職目標 進路目標の100%達成 県内就職率85%以上 公務員合格率65%以上 ○進学目標 第1次合格率90% ○故郷熊本を支える地方創生への積極的推進 ○高い目標へ挑戦及び個性を生かした推薦入試への挑戦	○目標設定や実現のための面談の充実 ○全職員による面接指導の充実 ○専門系列と2・3年次との情報共有 ○オンラインへの対応 ○作文・小論文指導の充実 ○関係外部機関（大津町役場、県北本部）との連携 ○コロナ禍における状況の情報共有及び組織的対応 ○総合学科研究部との連携の強化 ○個性を活かした大学推薦入試への挑戦	A	○就職目標 100%達成。県内就職率は81%であった。地域企業には、13社25名が内定した。 ○進学目標達成 1次合格率98.7% ○公務員目標 65%以上 92%達成 ○関係諸機関との連携 ・大津町企業連絡協議会及び大津町役場 関係機関と調整し、企業説明会を分散会場及びオンライン形式で本校において実施した。
		早期離職・上級学校退学の防止	○適応指導の充実 ○進学就職内定者指導の実施	○熊本しごとコーディネーターとの面談でミスマッチの無い受験 ○生徒の目線にたった離職・退学防止のための年次と連携したLHR指導 ○オープンキャンパスへの参加推進 ○上級学校訪問等の充実 ○保護者の理解を深めるため、年次保護者会等を実施（HPの活用）	B	○令和3年3月卒業者の早期離職者が5名。うち、3名は企業倒産によるもの。 ○5月にキャリアサポートによる面談を実施した。2年次の1月は新型コロナウイルス感染症の影響により延期している。 ○応募前職場見学や学校訪問等については、オンライン等の実施に対応した。 ○保護者会については、分散会場で実施するなど、感染防止対策を講じて実施した。

生徒指導	生活指導	基本的な生活習慣の確立	○整容指導の徹底 ○始業時間の厳守 ○挨拶の徹底 ○規範意識の向上 ○特別指導件数10件以下 ○無断アルバイトの根絶 ○盗難件数0 ○二重ロック率100%	○全職員の共通理解での指導の徹底 ○自ら考えさせる容儀指導・生活指導の充実 ○問題行動の未然防止の取組の充実 ○家庭への連絡・連携の充実 ○交通委員会による啓発と点検 ○年間をとおした登校指導	B	○指導に対する基準の共通理解に向けた研修を実施。 ○学校が目指す人間像が進路に向けても大切になる認識を徹底させた。 ○問題行動の未然に防ぐために常に声かけや目配り、情報共有を行った。 ○概ね各家庭との連携がとれた。今後も、一層の連携を進め、コロナ禍で不安定な子供たちに寄り添った対応を進める。 ○交通に関しては事故や外部からの通報が多く、説諭等による啓発に加え、巡回指導や交通委員による活動を実施した。 ○登校指導は週に2回程度実施した。時間ぎりぎりでの登校する生徒への声かけや年次との情報共有を行った。
		自主自立の育成	○生徒会活動の活性化 ○さまざまな活動への意欲的参加	○生徒総会の充実 ○体育大会・文化祭等の学校行事の充実	A	○生徒総会では休校等があり協議を十分にできなかったが、校則の見直し等について、生徒会執行部で話し合いを持ち、生徒自らが考える機会を持った。 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で生徒自らが考え、工夫して実施し、思いの詰まった行事にすることができた。 ○生徒主体で校則を見直すことができた。
	交通安全指導	交通安全教育の充実	○交通安全に対する意識の向上 ○重大事故件数0	○交通安全講話・通学方法別集会の実施 ○単車通学生への実技講習及び安全指導（年3回） ○自転車通学生への安全指導の実施 ○危険予知能力を向上させるためのLHRの実施	B	○講話や集会は、感染症対策を講じながら実施した。しかし、地域からの交通マナーの苦情や交通事故が多かったため内容の精査と見直しを行う。 ○単車通学生への実技講習会は実施できたが事故や苦情も寄せられており、生徒の意識向上の取組を進める。 ○自転車通学生の事故で重大な事故につながるものがあった。登校時の地域からの苦情が多く、安全指導については年間を通じた通学路での指導を行う。

						○今後、危険予知能力を向上させる LHR が実施を実施する。
	ボランティア活動の推進	心豊かな生徒の育成	○積極的なボランティアへの参加	○ボランティア委員会活動の活性化 ○タイムリーな活動紹介と募集	B	○新型コロナウイルス感染症の影響で外部からの依頼が少なく、積極的に活動できなかった。今後状況を見極めながら地域の奉仕活動を推進する。
	部活動の推進	心身の健全育成	○部活動加入の推奨 ○自尊感情の育成 ○奉仕精神の育成	○部活動見学会の実施等により、加入率 80 % ○キャリア教育との連携 ○部活動実績の HP での紹介	B	○入学時から活発に活動が実施できない状況にあったので加入率は 80 %であった。しかし、各部活動とも活発に活動している。 ○現在、1 年次生部活動への加入が半分程度になっている。今後生徒会との連携や、進路指導部による事業所が求める人材像についての情報提供を行い、部活動とおした人間力の向上も進路に向けても有益であることを周知していく。 ○HP での外部への広報に加え、学校内での広報活動も工夫して行う。
人権教育の推進	人権意識の向上	確かな人権感覚の育成	○人権問題についての正しい理解と認識の深化 ○身の回りにある不条理な差別を見抜き、正しく行動できる力の育成	○定期的な職員研修の実施と校外研修への積極的な参加 ○生徒人権集会、人権教育 LHR、人権教育講演会の実施	A	○新型コロナウイルス感染症の影響で校外研修がオンライン等になったが、職員の積極的な参加があった。また、旭志解放保護者会との研修は感染状況を勘案しながら実施できた。 ○生徒人権集会や人権教育講演会は、年次を分けてオンラインで実施するなど、感染症対策を講じながら実施した。
	教育相談	教育相談活動の充実	○一人ひとりの生徒のニーズに応じた支援体制の確立と強化 ○悩み相談体制の充実	○職員同士の情報共有体制の強化 ○保護者、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー、専門機関との連携 ○個別の教育支援計画・指導計画の策定 ○通級指導の実施	A	○生徒理解研修を 2 回実施した。 ○SC による面談を年間 16 回実施した。保護者との面談も実施した。 ○個別の支援計画・指導計画を作成し、ケース会議を実施した。 ○2、3 年次生 1 名ずつに対して、通級指導を本格的に実施した。また、来年度の対象生徒の決定も行った。
	命を大切にする心を育てる指導	自尊と社会規範の育成	○「生命の大切さ」の指導の徹底 ○生徒の自発的・自立的な道徳的行為	○道徳教育全体計画の検証 ○命を大切にする観点からの授業実施 ○生徒・保護者への広報・啓発	B	○人権教育 LHR を通して命を大切にする心の育成を行った ○県教委や文部科学省等から送られてきたポスター等を掲示した。 ○保護者向けの新型コロナウイルス感染症に関する連絡

			の涵養への取組			メールには人権に配慮について記載した。
いじめの防止等	安心安全な学校生活	いじめを生まない環境づくり	○いじめ防止対策へ向けた組織対策の確立 ○重大対応マニュアルの職員への周知 ○保護者との連携強化 ○いじめ未然防止と早期発見 ○SNS被害防止への取組	○いじめ防止対策委員会（３回）・小委員会（４回）の開催 ○家庭訪問及び定期的な個人面談の実施 ○いじめ実態把握調査の実施（年２回のアンケート実施） ○教育相談の活性化 ○外部専門家からの指導助言 ○生徒会、委員会による啓発活動 ○スクールサインを利用した早期発見 ○SNS被害防止のための講演会や全校集会での啓発 ○保護者集会での啓発	B	○心のアンケートをもとに聞き取りを実施し、いじめ防止対策委員会で事実を情報共有した。委員会では全ての事案を取り上げ、今後の対策について意見を集約し、教育相談室と連携して解決に向けて取り組んだ。 ○支援会議に生徒指導部も参加し、生徒指導上の情報を共有するとともに、対策について広く意見を聞くことで早期対応ができた。 ○今年度はＳＣから意見を頂く他は外部からの指導助言を聞く機会が少なかったので機会の確保に取り組む。 ○スクールサインについては今年度使われている様子はなかったため、生徒会と啓発活動に取り組み、つらい気持ち等の発信方法を伝える。 ○SNSの利用については大きな課題であり、生徒会や保護者と連携した指導に取り組みたい。
保健管理	健康教育	健康な体と豊かな心の育成	○健康観察の充実 ○感染症対策の実施 ○健康教育の充実 ○よりよい生活習慣の推進	○健康観察の結果を基に体調不良者の早期発見・対応 ○全職員による感染症の予防的対応 ○個別面談の実施 ○生徒保健委員会活動の活性化	A	○オンラインによる健康観察により体調不良者の把握や対応がより早くなった。 ○CO2濃度測定器を導入することで換気状況を客観的に評価することができた。 ○感染防止の点から十分な時間はとれなかった。 ○翔陽祭のステージ部門で大賞を受賞するなど委員会の活動は活発であった。
		救急救命研修および感染症対策の実施	○救急救命蘇生法研修および感染症対策の計画と実施	○蘇生法、緊急時対応の動画視聴とフローチャートの確認と徹底および感染症対策の周知	A	○本年度も実技研修会に代え全職員対象に動画を視聴してもらうことで、救急時における手順や方法について確認をした。

教育環境整備	安全管理	施設設備の安全管理	○安全点検の確実な実施 ○危険箇所への確実な対応 ○ハザードマップ等の啓発資料等の周知	○「安全点検週間」を設けることによる実施率の向上 ○点検結果の集約及び関係職員又は前職員への周知 ○防災避難訓練の徹底、校内の避難経路の作成と周知、登下校時の指定避難場所の周知	B	○評価後のアンケートをもとに再検討用の覚書を作成。 ○施設面における課題（危険箇所）については管理職に相談し、改善していく。
	学校版環境ISOの推進	環境美化の徹底と環境意識高揚	○5S活動の充実 ○節電・節水（省エネ推進）3～10%の削減 ○ゴミの減量化 可燃ゴミ重量昨年比、5%減少	○あらゆる場面での整理・整頓・清掃・清潔・躰の指導徹底 ○ゴミ分別の徹底 ○ゴミ持ち帰り活動の啓発 ○環境美化コンクールの実施 ○「節電・節水」の掲示物等の活用	B	○月に1度、5S活動の生徒への周知を美化委員会で行い取り組んだ。清掃に対する取り組みが課題。 ○ゴミの分別においては再度分別を周知する等、意識を高める必要がある。 ○ゴミの持ち帰り啓発についてはペットボトルや空き缶の持ち帰りの呼び掛けや捨てる場所の制限などに取り組んだ。今後も学校全体での取り組みが必要である。 ○環境美化コンクールは今年度実施できず、来年度実施に向けて準備する。 ○節電に関してはコロナ禍の中で窓を開放して冷暖房を使用したため使用量は増加したが、未使用の教室の電灯やエアコンを切ることなどを継続して指導した。
	教育の情報化	学校組織としての教育情報化の推進	○学校情報化認定の取得 ○情報活用能力育成の教育課程上の位置づけ	○学校情報化認定の取得に向けた取り組みの周知 ○チェック項目の集計、および認定に向けた情報提供 ○情報教育検討チームを作成し、情報活用能力の横断的な育成に向けた取り組みの検討	A	○本年度の取組内容や実績を整理し、学校情報化認定の取得を申請中。 ○チーム結成に向けた人選にとどまったため、来年度は発足し、より活用を進められる体制を作る。 ○情報活用能力の育成を含めた、翔陽高校版GIGAスクール推進全体計画を策定した。
		授業における効果的なICTの活用の推進	○全教職員のICTを活用した指導力の向上	○外部講師を活用した定期的な職員研修の実施 ○校内における活用方法の共有（研修や広報の作成） ○各種講習会の紹介及び受講の促進	A	○ミニ研修会の形で、本校職員だけではなく、ICT支援員からの研修会を実施して、職員のICTを活用した指導力の向上を図った。 ○Classroomや朝会などで、講習会などの案内を行い、情報をタイムリーに周知するとともに、Chromebookを教職員の普段使いのツールとして活用した。

		I C T 機器等の適正な管理と利用促進	○安心して I C T を活用できる環境の整備	○ I C T 機器の管理状況の把握 ○講義室等の常備されている機器管理 ○ I C T 機器の活用研修の実施	B	○機器の管理、把握は完了。日常的なチェックにより適正管理を行っている。 ○機器の活用研修は、週 2 回程度のミニ研修会を実施し G I G A スクールにおける教職員の指導力の底上げのための取組を行った。 ○今後も機器管理を組織的に行うため、一括で管理できる部屋の整備を検討する。
地域連携（コミュニティ・スクールなど）	学校行事を通じた連携	学校行事等の開放と交流	○同窓会との連携	○学校支援、登校指導、後輩への激励 ○海外学習の支援 ○翔陽祭での物品販売	B	○新型コロナウイルス感染症の影響で活動は限定的にならざるを得なかった。 ○感染拡大防止のため、役員会のみを実施。全国大会・総体・総文・海外研修等に奨学金支援を行った。
			○地域住民との連携	○地域花壇の管理 ○福祉施設との交流	A	○正門通りの道路には例年どおり花の管理ができた。
			○近隣の小学校・中学校・大津支援学校との交流及び共同学習	○農作業体験学習 ○共同学習 等	B	○新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、小学校のみの交流となった。播種のみ実施し、交流しながらの収穫はできなかった。
	保護者との連携	学校理解の推進	○育友会との連携 ○育友会総会等の出席率向上 ○保護者への連絡の徹底 ○保護者との情報共有	○一人一役活動（育友会レクレーション開催、翔陽祭バザー、長距離走大会豚汁支援、登校指導、校外補導等）の促進 ○学校支援、海外学習の支援 ○ P T A 総会、公開授業週間を活用した学校教育活動の理解促進 ○学校あんしんメールの活用促進 ○ P T A 会報の充実	B	○コロナ禍の影響で育友会総会が中止となり、全ての育友会活動が制限された。 ○保護者の意向を受け、育友会役員とも十分な協議を行い、生徒へ 4 点の物品を配付することができた。 ○必要に応じて、あんしんメールを活用して、保護者に情報を伝達することで、育友会との連携を円滑に進めることができた。
			○地域と連携した施策の実現	○学校運営協議会（総合型）への移行 ○地域関係機関や役場との定期的な意見交換 ○大津町企業連絡協議会との連携 ○地域と連携した教育活動の評価と点検	B	○学校運営協議会を総合型へ移行することができた。実施にあたっては分散実施や委員の個別訪問等、感染症対策を十分に講じた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響で地域との交流は大幅に制限されたが、オンラインや分散等、工夫しながら実施した。
	地域との連携	連携体制の充実				

4 学校関係者評価

- ・様々な取り組みがなされている。これからも継続してほしい。
- ・行政機関の施策の中で学校と協力してやれることがあるように思う。もっと協力体制を構築して取り組みにつなげたい。
- ・防災の分野では、近隣校とも連携した取り組みを進めていきたい。
- ・小学校の学び直しの取り組みにおいて、翔陽高校の生徒にボランティアで参加してもらうなど、近隣の学校ならではの取組んでもらえると大変ありがたい。
- ・翔陽高校の探究の学びにおいて、技術的障壁にぶつかった場合（たとえばＩｏＴ等）は、本校学生による支援や教職員同士の交流が行えると良い。
- ・近隣自治体への大手外資企業の進出により、今後の就職の在り方も変わってくると思う。今後学校と地域企業の連携を深化させるなどして、地元のことを知ってもらうとともに地元定着に企業側からも取り組みたい。

5 総合評価

（１）学校教育目標

「自ら気づき、考え、行動する」の教育スローガンを生徒が実現できるよう、あらゆる教育活動において企画し、併せて生徒への呼びかけを行ってきた。その成果として、コロナ禍において生徒が自ら考えて感染防止に向けて行動する姿や、実現はできなかったもののキャリア教育発表会に向けた生徒の探究的な学びの姿など多くの成果が見られた。

また、コロナ禍のため台湾への修学旅行は実施できなかったが、オンラインでのマレーシアやミャンマーの若者と本校生徒の異文化交流会を実施し、コロナ禍後における更なる交流の在り方について検討することができた。

（２）重点目標

令和４年度からの新学習指導要領の完全実施に向けて、令和２年度に作成した「カリキュラム・マネジメント全体計画」、「授業づくりの指針」に基づきながら一人一台のタブレットＰＣを利活用するなど、授業改善に全ての職員が取り組んだ。

また、臨時休業や分散登校にあっても、ＩＣＴを活用して生徒の学びを保障するとともに、ボランティア活動や対外的な活動においてテレビ会議システム等を活用するなど、学びや活動をできるだけ止めない工夫を講じた。

（３）自己評価総括表

本年度は、本校の目指す人材像についての設問を生徒・保護者・職員共通で設けるなどの評価項目の再検討を行ったため、単純に昨年度との比較はできないものの、評価の平均値は生徒・保護者ともに昨年度に比べて微増（＋０．１ポイント）し、教職員は微減（－０．１ポイント）するなど、ほぼ昨年度同様の結果となった。

本年度の特徴としては、新設した育成したい生徒像に関する設問について、生徒・保護者からは高評価をいただいているのに対して、教職員からは低い評価であったことである。これについては、生徒の実情を把握しながら、一層の取組を検討していく。

また、生徒・保護者への設問で「本校に入学して（させて）良かったか」の問いに対しては、生徒が３．０、保護者が３．５と高い評価をいただいた。更に、保護者からは育友会や地域社会との連携に関する項目についても３．２と高評価をいただいている。生徒の主体性を促す指導への取り組みが進んできており、今後も夢の実現に向けて「自ら気づき、考え、行動する」ことができるような生徒の育成に向けて、地域の産官学とも連携し、更なる取組を進めていく。

評価が低い項目については、生徒は施設・設備の故障・破損への対応についての項目が２．７であった。本年度導入された教室のＩＣＴ環境等で授業中の不具合が発生したことも影響すると考えられるが、生徒が安全・安心に過ごせる学校づくりのため、学校全体で情報を共有しながら対応していく。

保護者においては、家庭学習への取組とスクールカウンセラーの活用しやすさに関する設問が２．７と低かった。一人一台のタブレットＰＣ等も利活用しながら、御家庭とも連携したキャリア教育の視点に立って家庭学習の定着への取組を検討し、進めていく。

コロナ禍において、生徒たちも交友関係の構築をはじめとして多くの影響を受けている。スクールカウンセラーについては、従来の取組に加え、ＩＣＴ等も活用した一層の周知など、利用しやすい環境づくりに努める。

生徒・保護者からは本校には他の学校にない特徴があるかの項目について高い評価をいただいております。これは、地域社会からの高い期待の表れであり、入学者選抜の出願数にも反映されているものと考えています。今後も、地域社会と連携して、生徒の夢の実現に向けた探究的な学びに向けて取り組んでいく。

6 次年度への課題・改善方策

- (1) 昨年度に続き、本年度もコロナ禍の影響で多くの学校行事が影響を受け、縮小や延期を余儀なくされた。次年度はこの2年間で蓄積した知見を生かし、感染状況を勘案しながら生徒の学びや体験を最大限できるよう検討していく。
- (2) 本年度実施した、オンラインの職員朝会や朝会資料のペーパーレス化については職員の意見を聞きながら働き方改革や業務改善の視点を入れながら持続可能なものとするべくよりよいあり方を検討・実践する。
- (3) 生徒会や育友会の意見を取り入れながら校則の改訂を行った。今後も特に生徒の主体性を促すため、職員の共通認識のもと生徒が「自ら気づき、考え、行動する」生徒指導の実現に向けて、継続的な見直しを行っていく必要がある。
- (4) コロナ禍の影響で、リモート授業を実施する機会が多かった。オンライン朝会の実施等で職員がICTの活用に慣れていたこともあり、技術的な面での大きな問題は起こらなかったが、生徒の学習態度の把握等、運用面で出てきた課題もあり、次年度のコロナ対応やアフターコロナにおける学校のニューノーマルの実現に向け、他校との情報共有、検証、検討が必要である。
- (5) 一人一台のタブレット端末の導入及び日常的な利活用は、ICT運営部によるミニ研修会等の取り組みにより円滑に行うことができたが、次年度以降も継続的な取り組みにすることが必要である。

学校評価 「生徒」 評価の結果
令和3年度（2021年）12月実施

「よくあてはまる」 4
「ややあてはまる」 3
「あまりあてはまらない」 2
「まったくあてはまらない」1 として集

番号	質問事項	令和3年度		令和2年度	
		平均	グラフ	平均	グラフ
1	あなたは、自分と他者の違いを理解し、それぞれの良さを生かしながら、協力して取り組んでいる。	3.3	***** *		
2	あなたは、保護者や先生、周りの人たちから大切にされていると感じる。	3.2	*****	3.1	*****
3	あなたは、何かを決めるときや問題を解決するときには、自ら情報を集め、判断することができる。	3.1	*****		
4	あなたは、周囲の課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。	3.0	*****		
5	あなたは、物事を責任を持ってやり遂げることができる。	3.2	*****		
6	あなたは、自分の考えをまとめて、他者に分かりやすく伝えることができる。	2.8	***		
7	あなたは、翔陽高校に入学して良かったと思っている。	3.0	*****	2.9	****
8	翔陽高校は、他の学校と違ったよさがある。	3.1	*****		
9	翔陽高校では、授業等において、課題や宿題が充分に出されており、家庭学習に積極的に取り組んでいる。	3.0	*****	2.3	**
10	翔陽高校では、授業において生徒が主体的に活動する時間があり、学習内容が身につくよう丁寧な指導がされている。	3.0	*****	2.8	***
11	翔陽高校では、ICTを活用した分かりやすい授業が行われ、意欲をもって取り組める。	3.0	*****	2.7	**
12	翔陽高校では、体験活動や学習をととしてコミュニケーションやマナーの大切さを知り、将来について具体的な目標を持つことができる。	3.1	*****	3.0	*****
13	翔陽高校では、生徒の興味、関心、適性や進路に応じて選択科目が充実している。	3.2	*****	3.1	*****
14	翔陽高校では、分かりやすく興味の持てる講演会が実施されている。	2.9	****	2.8	***
15	翔陽高校では、進路に関する情報が生徒に対して十分に提供され、先生方は進路に関する相談に親身になって乗ってくれる。	3.2	*****	3.1	*****
16	あなたは、あいさつや制服の着こなしについて心がけ、そのことによる地域社会からの評価についても意識できている。	3.3	***** *	3.3	***** *
17	あなたが、学校生活で困った時、先生方は親身になって相談に乗ってくれる。	3.1	*****	2.8	***
18	翔陽高校では、生徒の考えや意見を聞く機会がもうけられている。	2.8	***	2.7	**
19	翔陽高校では、明るい挨拶や遅刻防止、頭髪服装等の指導、交通安全や事故防止の指導が十分行われている。	3.3	***** *	3.2	*****
20	翔陽高校では、ボランティア活動の募集があっていることを知っている。	3.5	***** ***	3.2	*****
21	翔陽高校では、学校生活において、命の大切さ、安心安全、心の問題などに関する指導が行われ、いじめのない学校づくりに取り組まれている。	3.1	*****	2.9	****
22	あなたが、体調不良の時など、保健室は利用しやすい。	2.8	***	2.7	**
23	翔陽高校では、台風や地震・火災の発生時、新型コロナウイルス感染症対策などについての指導が充分にされている。	3.2	*****	3.2	*****
24	翔陽高校では、5 S活動に基づき清掃や環境美化に力を入れている。	3.1	*****	3.0	*****
25	翔陽高校では、施設・設備の壊れたところを、すぐに修理してくれる。	2.7	**	2.6	*
26	あなたは、朝読書に熱心に取り組んでいる。	3.3	***** *	3.1	*****
各年度の平均値		3.1		3.0	

※グラフについて中央値の2.5点を下回っている場合は左側に*印、上回る場合は右側に*を付けています。
※令和3年度に質問項目の再検討を行ったため、令和2年度の項目は最も近い項目の数値を記載しています。

〈評価結果の分析〉

調査は4択のアンケートで実施し、中央値は2.5となります。本年度は、本校の目指す人材像に係る項目(1～6)を取り入れるなど、設問の再検討を行いました。そのため単純な比較はできませんが、平均値は昨年度から微増し「3.1」となり、全ての項目で中央値の2.5を越える結果となりました。特に、「翔陽高校に入学してよかった」については、昨年度より0.1ポイント増加し3.0となり、今後も生徒達にとって充実した学校づくりに務めて参ります。

新設した設問(1～6)、6項目中5項目が3.0を越えました。しかし、「自分の考えをまとめ、他者に分かりやすく伝えることができる」項目が2.8となり、「思考力・判断力・表現力」を育成する教育活動の一層の充実が必要であることが分かりました。

コロナ禍で教育活動が制限される中でも、授業における主体性の項目や自宅学習に関する項目は昨年度より高い結果となりました。これは、学校全体で主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や、オンライン授業の実施等も含めたICTの活用積極的に取り組んできた成果だと考えられます。

昨年度の課題であった、「困ったときに先生方が親身になって相談に乗ってくれる」「あなたの考えや意見を聞く機会を設けている」の項目については改善していますが、コロナ禍で生徒達に一層寄り添い、安全・安心な学校生活が送れるよう今後も取り組んで参ります。

学校評価 「保護者」評価の結果

令和3年度（2021年）12月実施

「よくあてはまる」 4
「ややあてはまる」 3
「あまりあてはまらない」 2
「まったくあてはまらない」 1 として集

番号	質問事項	令和3年度		令和2年度	
		平均	グラフ	平均	グラフ
1	あなたのお子さんは、自分と他者の違いを理解し、それぞれの良さを生かしながら、協力して取り組んでいる。	3.3	***** *		
2	あなたのお子さんは、自分のよさを周囲に認められ、周りから大切にされていると感じている。	3.2	*****		
3	あなたのお子さんは、何かを決めるときや問題を解決するときには、自ら情報を集め、判断することができる。	3.0	*****		
4	あなたのお子さんは、周囲の課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。	2.9	****		
5	あなたのお子さんは、物事を責任を持ってやり遂げることができる。	3.3	***** *		
6	あなたのお子さんは、自分の考えをまとめて、他者に分かりやすく伝えることができる。	2.8	***		
7	あなたは、子どもさんを翔陽高校に入学させて良かったと思いますか。	3.5	***** ***	3.4	***** **
8	あなたは、翔陽高校には他校にはない特徴があると思いますか。	3.4	***** **	3.4	***** **
9	子どもさんは、学校における実践的な学習をとおして、学んでいることへの興味・関心が深まっていると思いますか。	3.1	*****	3.1	*****
10	子どもさんは、家庭で予習復習・宿題・課題などの学習に取り組んでいますか。	2.7	**	2.6	*
11	翔陽高校では、授業改善（授業における生徒の主体的学習活動の時間確保やICTの活用）や子どもさんの理解度に応じた丁寧な指導がされていると思いますか。	3.0	*****	2.7	**
12	子どもさんは、翔陽高校の体験活動や学習をとおして、コミュニケーションやマナーの大切さを知り、将来について具体的な目標を持つことができていると思いますか。	3.0	*****	3.1	*****
13	翔陽高校では、子どもさんの進路希望実現に向け、積極的に進路相談に対応し、的確なアドバイスを与えていると思いますか。	3.1	*****	2.9	****
14	翔陽高校では、子どもさんが日常生活において困った時、先生方は親身になって指導していると思いますか。	3.1	*****	2.9	****
15	翔陽高校では、スクールカウンセラーを活用しやすい環境にあると思いますか。	2.7	**	2.7	**
16	翔陽高校では、先生と保護者が子どもさんのことについて話し合い、また保護者の考えや意見を聞くような機会が十分設けられていると思いますか。	2.8	***	2.8	***
17	翔陽高校では、遅刻防止、服装髪型等の規定遵守、交通安全と事故防止、礼儀や言葉遣い等の、基本的な生活習慣の指導が充分に行われ、生徒の身についていると思いますか。	3.2	*****	3.2	*****
18	翔陽高校では、部活動の活性化に取り組み、全体的に活発であると思いますか。	3.2	*****	3.1	*****
19	翔陽高校では、学校生活において、命の大切さ、安心安全、心の問題などに関する指導が行われ、いじめのない学校づくりに取り組んでいると思いますか。	3.0	*****	3.0	*****
20	翔陽高校では、生徒の健康状態が適切に把握され、新型コロナウイルス感染症への対応ができていると思いますか。	3.3	***** *	2.9	****
21	翔陽高校では、危機管理（例：怪我、病気、災害等）への対応は充分になされていると思いますか。	3.2	*****	3.1	*****
22	翔陽高校では、5S活動による整理・整頓・清掃・清潔・しつけ等が行き届き、衛生的に管理されていると思いますか。	3.2	*****	3.1	*****
23	翔陽高校では、学校敷地内の整備は行き届き、安心して学校生活を送ることができると思いますか。	3.3	***** *	3.2	*****
24	あなたは、翔陽高校職員の来客者への対応や電話対応は適切だと思いますか。	3.3	***** *	3.2	*****
25	翔陽高校では、地域や家庭に対して、学校の取組や諸連絡などを、ホームページやあんしんメール等を使って情報を充分に提供していると思いますか。	3.4	***** **	3.3	***** *
26	翔陽高校では、育友会や地域社会の要望・意見を十分取り入れ、連携した教育活動が推進されていると思いますか。	3.2	*****	2.9	****
各年度の平均値		3.1		3.1	

※グラフについて中央値の2.5点を下回っている場合は左側に*印、上回る場合は右側に*を付けています。

※令和3年度に質問項目の再検討を行ったため、令和2年度の項目は最も近い項目の数値を記載しています。

〈評価結果の分析〉

調査は4択のアンケートで実施し、中央値は2.5となります。生徒アンケートと同様に、単純な比較はできませんが、全体の平均値は昨年度同様の「3.1」で概ね同程度の結果となりました。「本校に入学させて良かった」の項目について、3.5と非常に高い評価をいただくことができました。今後も生徒が自らの夢の実現に向けて安全・安心な学校生活を充実して送れるよう保護者・地域と連携しながら、職員一丸となって取り組んで参ります。

新設した育成したい人材像の項目については概ね高い評価をいただきました。しかし、情報を集め、考え、判断して行動したり、自らの思いを表現する項目は3.0ポイントを下回る結果となりました。今後、総合学科ならではの取組をとおして、教育スローガンの「気づき、考え、行動する」力の育成に取り組んで参ります。

アンケートでは、全体的に高い評価をいただいておりますが、保護者との情報共有、新型コロナウイルス感染症対策、敷地内整備、来客対応等については特に高い評価をいただきました。今後も改善の視点を持って、取組を進めて参ります。

一方、家庭学習への取組、家庭と連携した指導、スクールカウンセラーの利用のしやすさに関する項目が3.0を下回りました。家庭学習については、本年度から本格的に利用を開始したタブレット等も効果的に活用しながら、生徒が取り組みやすい方法等についても検討を進めて参ります。また、本年度はコロナ禍のため保護者の御来校を制限せざるをえないこともあり、連携が取りにくい状況がありました。今後も学校での情報共有を基本としながらも、感染拡大の状況を勘案しながら県から貸与された1人1台のタブレットやその他ICT等も活用をも視野に入れ、よりよい連携の方法について検討いたします。スクールカウンセラーについては、一層の保護者・生徒への周知に努めるなどして、活用しやすい向上に努めて参ります。

学校評価 「職員」 評価の結果

令和3年度（2021年）12月実施

「よくあてはまる」 4
「ややあてはまる」 3
「あまりあてはまらない」 2
「まったくあてはまらない」1 として集

番号	質問事項	令和3年度		令和2年度	
		平均	グラフ	平均	グラフ
1	本校生は、自分と他者の違いを理解し、それぞれの良さを生かしながら、協力して取り組むことができる	2.9	****		
2	本校生は、自分のよさを周囲に認められ、周りから大切にされていると感じている。	2.9	****		
3	本校生は、何かを決めるときや問題を解決するときには、自ら情報を集め、判断することができる。	2.5			
4	本校生は、周囲の課題に気づき、その解決に向けて取り組むことができる。	2.4	*		
5	本校生は、物事を責任を持ってやり遂げることができる。	2.8	***		
6	本校生は、自分の考えをまとめて、他者に分かりやすく伝えることができる。	2.6	*		
7	あなたにとって、総合学科高校での勤務は貴重な経験となっている。	3.5	***** ***	3.6	***** ****
8	あなたは、学校経営においてチームワークを心掛けると共に、組織の一員として役割や責任分担を自覚し、学校の教育活動に積極的に参加している。	3.4	***** **	3.6	***** ****
9	あなたは、研究（研修）に対して目標を持ち、長期的・中期的ビジョンのもとで計画的に取り組む、校外研究大会などに参加して自己研鑽に努めている。	2.8	***	2.9	****
10	あなたは、分掌部の課題を把握し、その問題解決のために組織的な取り組みができています。	3.2	*****	3.0	*****
11	あなたの各分掌での仕事量は適切であり、校内人事やOJTによる人材育成も適正に行われている。	2.7	**	2.5	
12	本校では、施設・設備を運営する組織体制が整っており、教職員の責任分担も明確である。	2.5		2.6	*
13	あなたは、生徒に家庭学習の習慣を身に付けさせるため、宿題や課題等を出している。	2.7	**	2.8	***
14	あなたは、主体的・対話的で深い学びの実現の視点や教科担当としての研究テーマを持ち、授業改善に取り組んでいる。	3.0	*****	3.2	*****
15	あなたは、生徒一人ひとりの理解度や生徒の状況（学習指導上の問題等）に応じた教科指導や実習指導の工夫を行っている。	3.1	*****	3.1	*****
16	本校の講演会や体験活動は、生徒の職業観・勤労観の育成と進路目標の達成に役立っている。	3.2	*****	3.2	*****
17	本校で行っている「産業社会と人間」の内容は総合学科の原則履修科目の目標に沿ったものとなっている。	3.0	*****	3.0	*****
18	本校の進路指導は、生徒の自己実現のために計画性を持って行われている。	3.2	*****	3.2	*****
19	あなたは、生徒の生活状況・進路希望等について絶えず関心を持ち、個々の生徒に応じた指導の工夫・改善に努めている。	3.2	*****	3.3	***** *
20	あなたは、遅刻防止の指導、頭髪服装等の規定遵守の指導、交通安全教育と事故防止の指導、礼儀や言葉遣い等の基本的な事項の指導を十分に行っている。	3.1	*****	3.1	*****
21	あなたは、人権を尊重する心など豊かな心を育て、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	3.5	***** ***	3.4	***** **
22	あなたは、危機管理（例：怪我、病気、災害、新型コロナウイルス感染症等）への対応を十分に行っている。	3.4	***** **	3.4	***** **
23	あなたは、防災教育（防災の視点を取り入れた教育活動）を実践している。	2.9	****	2.7	**
24	あなたは、5S動の意味や意義を理解した上で、生徒に指導を行っている。	3.2	*****	3.3	***** *
25	本校では、育友会活動や家庭訪問、三者面談等の、保護者との連絡・連携が十分に行われており、保護者との信頼関係が確立されている。	3.1	*****	3.1	*****
26	本校では、授業参観日を設けたり、地域に施設を開放したりするなど開かれた学校づくりに十分努力している。	2.9	****	3.1	*****
各年度の平均値		3.0		3.1	

※グラフについて中央値の2.5点を下回っている場合は左側に*印、上回る場合は右側に*を付けています。
※令和3年度に質問項目の再検討を行ったため、令和2年度の項目は最も近い項目の数値を記載しています。

〈評価結果の分析〉 調査は4択のアンケートで行い、中央値は2.5となります。生徒、保護者アンケート同様に、単純な比較はできませんが、全体平均は昨年度から0.1ポイント減の3.0ポイントとほぼ同程度の評価となりました。新設した育成したい人材像の関する項目については、全てが3.0を下回る評価で、生徒・保護者の同項目の評価がほぼ3.0を上回る高い評価だったのとは対照的な結果となりました。今後、育成したい人材像についての学校全体での共通理解を図りながら、生徒の実情を十分に把握した上で、実情に配慮した取組みを進めて参ります。 その他の項目については、全体的に昨年度同様の傾向が見られました。特に総合学科である本校での経験は職員にとって良い経験となっていることが分かりました。本校はカリキュラムマネジメント全体計画や授業づくりの指針等を策定し、授業改善や探究的な学びの実現に積極的に取り組んでおり、新学習指導要領の完全実施に向けて大きな経験となっているものと考えられます。 また、組織的な取組は3.4ポイントと高く、主任・主事を中心とした日常的なコミュニケーションに基づいた組織運営により、コロナ禍における突発的な事態に対しても、全職員の協力体制が速やかに整い対応できたものと考えられます。今後も、主任・主事を中心とした安定した学校運営に取り組んで参ります。
--